

平成 2 5 年度 流域管理の取組結果表

No. 37 (当初計画 : No. 37)

東北森林管理局

取組名	安定供給システムによる販売（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域（三陸北部）
分類番号	カ-22
実施箇所及び実施日	管内国有林の保育間伐造林費活用型で生産される素材の中から平成25年度中に販売
取組の背景及び必要性	地域材の需要・販路の確保・拡大、林業事業体の育成と雇用の確保等、木材業界からのニーズ等に対し、安定的に対応する必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>県内の集成材・合板工場等への計画的・安定的に販売し、流通・加工体制の整備や林業事業体の育成に努めてきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】</p> <p>今年度からは、木質バイオマス利用へのシステム販売も行った。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>三陸北部森林管理署、局資源活用課等 （需要量等の把握）</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>集成材工場、合板工場、木質バイオマス発電所 （協定締結）</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	協定締結先では、素材需要の安定的な確保ができると好評である一方で、申請しても審査で落選するなど協定に至らない所からは不満の声も聞かれる。
PRの実施状況及びその期待する効果	日頃から関係する事業者等に対して、システム販売についてPRに務めている。

平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 38 (当初計画: No. 38)

東北森林管理局

取組名	林業事業体等に対する森林作業道作設及び安全作業指導等 (継続)
流域名	久慈・閉伊川流域 (三陸北部)
分類番号	オ-21 カ-24
実施箇所及び実施日	三陸北部森林管理署 南田代山国有林 岩手県宮古市川井生涯学習センター 平成25年8月28日
取組の背景及び必要性	低コスト作業システムに向けた現地検討会を当署と沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室及び宮古地方森林組合と共催により、低コスト作業システムの普及と定着を図ること、及び労働災害の未然防止を目的として開催する必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 市町村関係者、森林組合、林業事業体等を参集して森林作業道作設方法等について現地検討会を開催した。 また、労働基準監督署と連携し安全作業に対する意識の高揚を図ってきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 昨年度の現地検討会で要望が多かったことから、午前は、丸太組工法の実演や路体の排水の考え方などについて、現地検討会を開催した。また、午後は、宮古労働基準監督署と連携し災害事例等を活用しながら、安全意識の高揚を図った。</p>
国有林担当部局・役割	三陸北部森林管理署、局資源活用課、青森事務所 (企画、関係機関との連絡調整、会場準備、資料作成等)
連携協働相手先・役割	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室 宮古地方森林組合 (関係団体の参集) 宮古労働基準監督署 (安全指導)
取組の結果、反響、今後の課題等	森林作業道作設方法については、実演を交えながら検討会を実施することができ好評であった。 また、安全指導では、災害事例の分析や危険予知活動記録の活用しながら、安全意識の高揚が図られた。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: プレスリリース、署HPへ掲載。 効果: 低コスト作業システムの普及・定着のより一層の推進及び安全意識の高揚が図られる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名

林業事業体等に対する森林作業道作設及び安全作業指導等
(継 続)

○開会式の様子



○丸太組工法の実演



○バックホウで盛り土



○質問する参加者



○講話する労働基準監督署職員



○真剣に聞く参加者



平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 39 (当初計画: No. 39)

東北森林管理局

取組名	森林環境教育の推進(継続)
流域名	久慈・閉伊川流域(三陸北部)
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	三陸北部森林管理署 鮎山国有林外 岩手県宮古市向新田外
取組の背景及び必要性	<p>地域住民等に対し、森林・林業に対する理解を深めるために森林教室等の自然に親しむ機会を提供し、森林をより身近に感じていただき、その役割や重要性について理解の醸成を図る。</p> <p>また、管内市町村等からの森林教室、体験林業等への講師派遣(企画・立案)及びフィールド提供並びに森林教室開催等の要望があることから、森林環境教育を推進する意味からも要望に応える必要がある。</p>
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 一般公募により森林教室等の開催を通じて、森林の役割やその重要性について理解の醸成を図ってきた。 また、管内の市町村等が主催する森林教室や体験型林業等への講師派遣(企画・立案)及びフィールドの提供などの要望にも応えてきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月 7日 宮古市主催 植樹体験へ講師派遣 ・ 6月 8日 宮古市主催 除間伐体験へ講師派遣 ・ 6月20日 田野畑村小学校森林教室へ講師派遣 ・ 6月28日 宮古市主催 下刈体験へ講師派遣 ・ 8月 6日 署主催 林業体験イベント開催 ・ 9月27日 署主催 登山イベント開催 ・ 10月13日 宮古市主催 植樹体験へ講師派遣 ・ 10月30日 署・重茂漁協女性部と共催 植樹体験開催 ・ 11月17日 宮古市主催 森林ふれあい教室へ講師派遣
国有林担当部局・役割	三陸北部森林管理署(企画・立案の支援及び協力、用具類の貸出、講師派遣等)
連携協働相手先・役割	宮古市、田野畑村、重茂漁協婦人部 (企画・立案、体験活動等)
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>林業体験活動や森林環境教育等を通じて、森林の役割やその重要性について参加者への理解が深まった。</p> <p>森林環境教育の取組は、これからも重要であることから興味をいだかせるような取り組みについて検討する必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期	<p>PR: 地元新聞及び広報誌へ掲載、署HPへ掲載。</p> <p>効果: 森林の大切さや重要性について理解が図られる。</p>

【参考資料】

取 組 名 森林環境教育の推進（継続）

○ 6月7日植樹体験



○ 8月6日下刈体験



○ 6月8日除間伐体験



○ 9月27日早池峰山登山



○ 6月20日田野畑村小学校森林教室 ○ 10月30日植樹体験



平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 40 (当初計画: No. 40)

東北森林管理局

取組名	マスコミ及び下流域住民に対する森林施業等の紹介（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域（三陸北部）
分類番号	カ-27
実施箇所及び実施日	三陸北部森林管理署 鮎山国有林外 平成25年10月30日
取組の背景及び必要性	マスコミ及び下流域の住民に対して、国有林野事業の理解と協力を得るために、日頃から森林施業等を紹介する姿勢が必要である。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 下流住民及びマスコミを招き、間伐作業現場及び早池峰山周辺森林生態系保護地域の視察会を開催してきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 下流域の住民の方10名及び報道機関各社を招き、津波により与奈沢に土砂が堆積するなどの被害を受けて施工した復旧工事箇所の視察や約75haの山火事被害のあった跡地の復旧状況の視察会を開催した。</p>
国有林担当部局・役割	三陸北部森林管理署（企画・立案等）
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>国有林側から積極的に森林施業等を紹介することにより、国有林野事業に対する理解が図られた。</p> <p>今後は、より多くの地域の方が参加してもらえるような取り組みや宣伝の方法について検討する必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：地元新聞及び広報誌へ掲載、署HPへ掲載。</p> <p>効果：普段は目にする機会が少ない奥山での取り組みについて紹介することができ国有林野事業への理解が図られる。</p>

【 参 考 資 料 】

取 組 名	林業事業体等に対する森林作業道作設及び安全作業指導等 (継続)
-------	------------------------------------

○挨拶する署長



○山火事跡地視察



○与奈沢視察



○山火事跡地視察



○木製校倉式谷止工視察



○復旧完了箇所



平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 41 (当初計画: No. 41)

東北森林管理局

取組名	市町村森林整備計画等の実行段階への技術的支援（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域（三陸北部）
分類番号	イ-18
実施箇所及び実施日	三陸北部森林管理署 会議室（1回）平成25年11月27日 同上（2回）平成25年12月4日
取組の背景及び必要性	森林・林業の再生を図るため「森林・林業再生プラン」が策定されている。その実現に向けて市町村森林整備計画の実効性を確保する必要があることから、国有林の見知を発揮し支援することが必要である。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成23年度から准フォレスターが中心となって、管内の各市町村の森林整備計画の策定及び実行段階において支援を行ってきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 宮古地方森林組合から要請があった森林経営計画(属人計画)の作成支援を行った。</p>
国有林担当部局・役割	三陸北部森林管理署（情報提供・収集・連絡調整）
連携協働相手先・役割	宮古市、山田町、田野畑村、岩泉町、沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室、森林組合（情報提供等）
取組の結果、反響、今後の課題等	地域の森林・林業の活性化が図られる。 民有林側からの情報が少ないので、国有林側から情報の提供・収集を行うなど協力関係づくりの強化が必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：各種会議等の場において国有林野事業について紹介。 効果：民有林と連携した森林づくりが期待される。